第２講
古代オリエント②

地中海東岸は歴史的にシリアと呼ばれる地域だ。現在はシリアの他にレバノン，ヨルダン，イスラエルという国がある。

【アラム人】古代史におけるこの地域の民族としては，まず(1)〔　　〕人を覚えよう。現シリアの首都(2)〔　　〕を中心に(3)〔　　〕に従事しアラム文字を生み出した。アラム語はアケメネス朝ペルシアの公用語となり，のちにイエス＝キリストも話していたという。アラム文字はイラン系のソグド文字，トルコ系の突厥（とっけつ）文字やウイグル文字，モンゴル系の契丹（きったん）文字，ツングース系の女真（じょしん）（満州（まんしゅう））文字に影響した。

【フェニキア人】地中海沿いには，(4)〔　　〕人が北から(5)〔　　〕を築いた。ベイルートは現(6)〔　　〕の首都。ティルスは北アフリカに(7)〔　　〕（現チュニジアの首都(8)〔　　〕）植民市を建設した。ポエニ（フェニキア）戦争で共和政ローマと戦ったカルタゴだ。カルタゴにはフェニキア人の宗教の名残がある。フェニキア人はインド洋からバルト海にかけて広範囲で交易に従事。(9)〔　　〕文字をもとにフェニキア文字を生み出し，これがアルファベットとなって(10)〔　　〕文字，エトルリア文字を経てラテン文字つまりローマ字となった。

レバノンは風光明媚（ふうこうめいび）で快適な国だ。狭い国土に多様な気候が混在する。レバノン国旗の表象レバノン杉の原木は現在数本を残すのみだ。フェニキア人ではないが現シリアの(11)〔　　〕もおさえておこう。

【ヘブライ人】パレスチナの先住民は(12)〔　　〕。神(13)〔　　〕から「乳と蜜の流れる(14)〔　　〕の沃野（よくや）」を約束されメソポタミアの(15)〔　　〕からユーフラテス川沿いに移動した(16)〔　　〕の一族は，先住民から「川向こうから来た人々＝(17)〔　　〕」と呼ばれた。

前13世紀にモーセはヘブライ人を「(18)〔　　〕」させた後に(19)〔　　〕でヤハウェから(20)〔　　〕を授かりヤハウェと契約関係に入る。そして今から約3000年前に(21)〔　　〕は(22)〔　　〕に都を定め，(23)〔　　〕を建設した(24)〔　　〕（フィリスティア人，パレスチナの語源）の巨人ゴリアテを石投げ機で打ち倒した。

解答

（1）アラム　（2）ダマスクス　（3）内陸交易（こうえき）　（4）フェニキア
（5）ビブロス，ベイルート，シドン，ティルス　（6）レバノン　（7）カルタゴ
（8）チュニス　（9）シナイ　（10）ギリシア　（11）ウガリット　（12）カナーン人
（13）ヤハウェ　（14）カナーン　（15）ウル　（16）アブラハム　（17）ヘブライ人
（18）出（しゅつ）エジプト　（19）シナイ山　（20）十戒（じっかい）　（21）ダビデ　（22）イェルサレム
（23）ガザ　（24）海の民＝ペリシテ人

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

エルサレムにヤハウェの神殿を建立したのが，ダビデの子 (25)〔　　〕だ。ヘブライ王国の国土は現在の二倍に及び（現在のイスラエルは日本の四国ほどの広さ），**アラビアからシバの女王はソロモンの栄華を見に訪れた**。しかし統治の後半には妻を1000人持ちヤハウェの崇拝から離れ，結果ヘブライ王国は北の (26)〔　　〕と南の (27)〔　　〕に分裂。イスラエル王国は (28)〔　　〕年 (29)〔　　〕に，ユダ王国は (30)〔　　〕年に (31)〔　　〕のネブカドネザル２世により滅亡した。この時期に (32)〔　　〕が登場し**メシア（救世主(きゅうせいしゅ)）の出現を予告しユダヤ教が熟成**した。

解答

(25) ソロモン　(26) イスラエル王国　(27) ユダ王国　(28) 前722
(29) アッシリア王国　(30) 前586　(31) 新バビロニア王国　(32) 預言者(よげんしゃ)

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第２講　テスト①

1　以下のうち，フェニキア人が建設した都市でないもの。

①　カルタゴ

②　シドン

③　エルサレム

④　ティルス

2　旧約聖書の神は。

①　アモン

②　マルドゥック

③　アトン

④　ヤハウェ

3　バビロン捕囚が起こった世紀は。

①　前７世紀

②　前６世紀

③　前５世紀

④　前４世紀

第２講　テスト①解答

1　③　　2　④　　3　②

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

【パルティア】パルティア王国は現イランの(1)〔　　〕南東で(2)〔　　〕世紀に(3)〔　　〕系(4)〔　　〕人が(5)〔　　〕から自立した国だ。**建国者が**(6)〔　　〕**なので中国名は**(7)〔　　〕**である。**

東はインダス川から西はユーフラテス川にまで拡大し，ティグリス川沿いに新都(8)〔　　〕を建設した。だからセレウコス朝はセレウキアを放棄して地中海のアンティオキアに都を移すことになる。最初はギリシア語が公用語でヘレニズム文化の影響大だったが，後にペルシア文化が復興した。アラム文字表記からパフレヴィー文字表記にペルシア語が変化した。パルティアは(9)〔　　〕付近で（(10)〔　　〕の戦い）共和政ローマの第１回三頭政治のメンバー，(11)〔　　〕を戦死させた。しかし，(12)〔　　〕年にペルシス地方に興った(13)〔　　〕系イラン人のササン朝ペルシアにより滅亡した。

【ササン朝ペルシア】ササン朝の建国者は(14)〔　　〕で(15)〔　　〕**の復興を理念に掲げ，**(16)〔　　〕**を国教にした（教典は『**(17)〔　　〕**』）**。都は(18)〔　　〕，学芸の中心はグンディ＝シャープール。ギリシア・ローマの古典を翻訳し，イスラーム世界に伝えた。３世紀の(19)〔　　〕世は西にローマ帝国の軍人皇帝(20)〔　　〕を捕虜(ほりょ)にし（(21)〔　　〕の戦い，(22)〔　　〕年），東では西北インドの(23)〔　　〕を衰退させた。

６世紀の(24)〔　　〕世は西に**東ローマ（ビザンツ）帝国**の(25)〔　　〕と対決し，東では(26)〔　　〕と結んで(27)〔　　〕を攻撃した。

３世紀のバビロンでマニは**ゾロアスター教に**(28)〔　　〕**と**(29)〔　　〕**を融合し**(30)〔　　〕をつくるが，これはイスラーム化以前の(31)〔　　〕の国教だ。(32)〔　　〕**派キリスト教（唐代(とうだい)の**(33)〔　　〕**）**も信仰された。

法隆寺(ほうりゅうじ)の(34)〔　　〕や水差しなどにササン朝ペルシアの影響が反映されている。

ササン朝ペルシアは(35)〔　　〕年のザグロス山中の(36)〔　　〕の戦いで，(37)〔　　〕**時代の**(38)〔　　〕**人**(39)〔　　〕**教徒に敗れ滅亡した（**(40)〔　　〕年）。

解答

（１）カスピ海　（２）前３　（３）遊牧(ゆうぼく)　（４）イラン　（５）セレウコス朝シリア
（６）アルサケス　（７）安息(あんそく)　（８）クテシフォン　（９）ユーフラテス川
（10）カルラエ　（11）クラッスス　（12）224　（13）農耕　（14）アルダシール１世
（15）アケメネス朝　（16）ゾロアスター教　（17）アヴェスター　（18）クテシフォン
（19）シャープール１　（20）ヴァレリアヌス　（21）エデッサ　（22）260
（23）クシャーナ朝　（24）ホスロー１　（25）ユスティニアヌス帝　（26）突厥(とっけつ)
（27）エフタル　（28）キリスト教　（29）仏教　（30）マニ教　（31）ウイグル
（32）ネストリウス　（33）景教(けいきょう)　（34）獅子狩文錦(ししかりもんきん)　（35）642　（36）ニハーヴァンド
（37）正統カリフ　（38）アラブ　（39）イスラーム　（40）651

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第２講　テスト②

1　パルティアは中国で何と呼ばれたか。

①　大食

②　回鶻

③　安息

④　烏孫

2　パルティア王国が建国された世紀は。

①　前５世紀

②　前４世紀

③　前３世紀

④　前２世紀

3　ササン朝のシャープール１世がエデッサで捕虜にしたのは。

①　ローマ皇帝

②　東ローマ皇帝

③　西ローマ皇帝

④　神聖ローマ皇帝

4　ササン朝のホスロー１世が一緒にエフタルを滅ぼしたのは。

①　匈奴

②　鮮卑

③　柔然

④　突厥

5　極端な禁欲・平等主義であったゾロアスター教の異端は何か。

①　グノーシス派

②　マロン派

③　ミトラ教

④　マズダク教

6　バクトリア王国はスキタイ系遊牧民族の侵入で滅んだが，それはどれか。

①　サカ

②　ピュー

③　トハラ

④　ロマ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第２講　テスト②解答

1　③　　2　③　　3　①　　4　④　　5　④　　6　③

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。